動画で先生の講義を体験してみよう!

冊子に登場した先生をはじめ、様々な学部の授業が動画で体験できます。

こんな体験授業が動画で見られます!

- 化学の力で地域振興と食品ロスの解決に挑む!
  「米粉×SDGs 理工学部丸田ゼミの挑戦」
  （理工学部 丸田晋策先生）
- 「漫画=日本文化」って本当?歴史から検証する!
  「マンガはどこから来たのか?
  前近代の戯画と比較して」
  （文学部 森下達先生）

など

動画視聴は
こちら!

オープンキャンパスで生の講義を体験しよう!

動画にはない先生の講義を聞いたり、先生に直接質問することもできます。
キャンパスで大学生への一歩を踏み出してみませんか?

「キャンパス」と「オンライン」の同時開催!

オープンキャンパス開催日

2023 5/3. 5/4. 8/5. 8/6. 8/27

時間 10:00–16:00

詳しくは
こちら!

大学の特長や学びなど
創価大学の基本がわかる!

受験生サイト

資料請求や
イベント予約ができる!

公式LINE

SOKA University

創価大学　アドミッションズセンター
〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236
Tel 042-691-4617 Fax 042-691-9310
www.soka.ac.jp/

経済学部 | 経営学部 | 法学部 | 文学部
教育学部 | 国際教養学部 | 理工学部 | 看護学部

学部選びに悩んだら

学び探しサポートBOOK

#創価大学

#学ぶって楽しい

世の中の出来事と学びって、
深くつながっているらしい。

どんなコトが、どんな学びと
つながっているんだろう?

SOKA University

暮らしと学びはつながっている

朝起きて学校に行って帰ってくる。そんないつもの毎日のなかにも、「学び」につながるたくさんの出来事がある。
それを意識するだけで、自分が興味のある学問に気づけるかもしれません。

スマホを開くとき

スマホにゲームにエアコンに。私たちはレーザーなしに暮らせない

「半導体不足」が世界的な問題になるほど、半導体はあらゆる産業に必要なもの。そして半導体の製造になくてはならないのがレーザーです。おなじみのスマホやゲーム機、エアコンや冷蔵庫、車などにも半導体が使われており、レーザーがなければそれらの製品は作れません。ともに20世紀の大発明である半導体とレーザーは補い合って発展し、21世紀の今に至ります。現代の便利な生活に貢献する多くの技術を、実はレーザーが支えているのです。

理工学部
窪寺昌一教授

→ たとえば、創価大の理工学部ではこんな学びにつながります！

レーザー科学／応用工学・量子光工学

HRの時間、みんなで話し合うとき

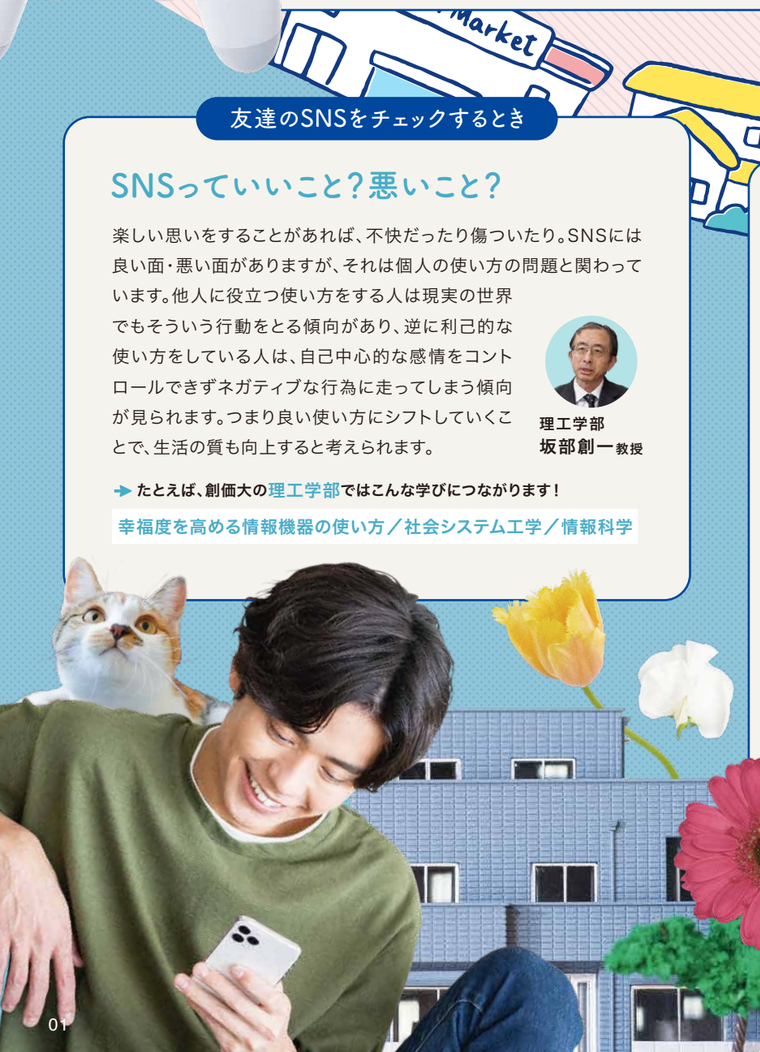
文化祭で人が集まる出し物って何だろう？

企業が商品を売り出したり大きなイベントを行う際には「マーケティング」が行われます。マーケティングとは商品やサービスが売れる仕組みを考えることですが、ただ頭の中でアイデアをひねり出すのではなく、データを分析して適切な手法を追求します。みなさんが学校の文化祭の出し物を考える際にもマーケティングは有効。人気が出たお店の企画や立地、来客の年齢層など、前年のデータを活かして出し物を考えるのが成功の鍵となるでしょう。

経営学部
天谷永教授

→ たとえば、創価大の経営学部ではこんな学びにつながります！

マーケティング・リサーチ／統計解析



友達のSNSをチェックするとき

SNSっていいこと？悪いこと？

楽しい思いをすることがあれば、不快だったり傷ついたり。SNSには良い面・悪い面がありますが、それは個人の使い方の問題と関わっています。他人に役立つ使い方をする人は現実の世界でもそういう行動をとる傾向があり、逆に利己的な使い方をしている人は、自己中心的な感情をコントロールできずネガティブな行為に走ってしまう傾向が見られます。つまり良い使い方にシフトしていくことで、生活の質も向上すると考えられます。

理工学部
坂部創一教授

→ たとえば、創価大の理工学部ではこんな学びにつながります！

幸福度を高める情報機器の使い方／社会システム工学／情報科学

おばあちゃんに"行ってきます"と言うとき

同居している祖父母に介護が必要になったら？

近年入院日数が短縮され、急性期を乗り越えた患者さんは在宅療養する時代になっています。みなさんの中に祖父母と同居している人はいますか？もし不自由な身体で退院してきたら、だれかがお世話をする必要があります。ご家族にも自分の生活があり、専門的知識がない中で療養者を支えるのは大変なことです。高齢化が急速に進む今、在宅ケアは他人事ではありません。ご本人が住み慣れた家で安心して暮らすことができ、その家族をも丸ごと支える訪問看護師の役割はますます大きくなっています。

看護学部
藤田美江教授

→ たとえば、創価大の看護学部ではこんな学びにつながります！

看護の応用科目／地域在宅看護学

異性と隣の席になったとき

男の子らしさ・女の子らしさの「らしさ」って必要なくない？

昔は「男の子は黒、女の子は赤」だったランドセルも、今では性別に関係なく好きな色を選べるようになりました。しかしまだまだ「男の子は強い」「女の子はやさしい」といった「らしさ」の概念は根深く残っており、この概念は、幼少期に見たテレビ番組や大人たちの話などによってすでに子供の頭に刷り込まれています。「らしさ」を押し付けない環境作りや幼児教育を行うことは、男女差別や偏見、不平等をなくしていくことにつながります。

教育学部
戸田大樹准教授

→ たとえば、創価大の教育学部ではこんな学びにつながります！

幼少期のジェンダー／保育方法論

夜ごはんを食べながら

今日の夕食の自給率は何パーセント？

多くの食品を輸入に頼っている日本では「地元の野菜にイタリア産のパスタ」といった、国内食材と輸入食材が混ざった食事はごく普通です。一方私たちがおいしく食べている間にも、世界的には途上国を中心に人口は増え続け、食料不足が起こっています。さらに気候変動により食料の生産が難しい地域が増えていけば、この先日本の輸入はどうなる？と不安視する声も。毎日の食事も、グローバルな視野で考えてみるといろいろな問題が見えてきます。

経済学部
近貞美津子准教授

→ たとえば、創価大の経済学部ではこんな学びにつながります！

農業経済学／農業・食料問題分析／人口問題分析

みんなが生きやすい社会を作るには、どうすればよいのだろう？

ニュースでよく聞く「多様性」。同じ日本に暮らしていても、一人ひとりが持っている背景は異なっています。違いがあっても、みんなが生きやすい社会を実現するためにさまざまな学問がヒントになります。

パートナーシップ制度と婚姻制度

結婚、相続…同性カップルが抱えるたくさんの困難

法学部
上田宏和講師

2015年に同性カップルを認める「パートナーシップ制度」が東京の渋谷区と世田谷区で始まりました。しかしこの制度は国が法律で定める「結婚」とはまったく違うものです。パートナーが亡くなったときに財産を相続できない。パートナーが手術することになっても親族として認められず同意書にサインできない場合があるなど、多くの困難があります。先進国では同性婚が合法化された国も多く、国際社会は今後の日本の動向を注視しています。

→ たとえば、創価大の法学部ではこんな学びにつながります！ **同性婚／LGBTQが直面する法的困難**

多様性と自由

自分のメガネではなく人のメガネで世界を見よう

文学部
倉橋耕平准教授

人種に階層、ジェンダーに宗教。人には各々のアイデンティティ（の束）があり、置かれている環境も違います。残念ながらその違いによって、他の国の文化を馬鹿にしたり、入試で女性が差別されたりするという事件もありました。多様な人々とともに公正な社会を作るには、知識と知恵と努力が必要です。他の人のメガネで世界を見てみましょう。きっと見える世界が違うはず。他者にとって大切なものを理解することが、平等な社会への第一歩となるでしょう。

→ たとえば、創価大の文学部ではこんな学びにつながります！ **ジェンダーの社会学**

心理学の視点から考えるHSP

繊細すぎる人が、単純に「生きづらい」わけではない

教育学部
飯村周平講師

みなさんは「HSP」という言葉を聞いたことがありますか？ハイリーセンシティブパーソン＝とても感受性が高い人、いわゆる「繊細さん」です。たとえば進学した先で、感受性が高い人は新しい環境になじめないこともありますが、自分と合う環境だった場合は、感受性が低い人よりむしろ「生きやすい」傾向があります。つまり環境から良くも悪くも影響を受けやすい特性ということであり、感受性が高いから「弱い」というわけではありません。

→ たとえば、創価大の教育学部ではこんな学びにつながります！ **発達心理学**

難病患者のQOL（生活の質）向上支援

「健康」って何だろう？多様な観点が必要になる

看護学部
内山久美教授

治療法が確立しておらず、長期の療養が必要な病気を「難病」といいます。もしも自分や家族が難病にかかったら、強いストレスが生じると想定できます。しかし、人は病いという新しい状況に適応する存在であり、自分が叶えたい目標を見つけ、そこに近づくことでQOL（生活の質）を豊かにすることができるといわれます。難病患者に限らず、病いや障がいがあっても、やりたいこと（目標）ができ、自分らしく生きること、それこそが「健康」と言えるでしょう。

→ たとえば、創価大の看護学部ではこんな学びにつながります！ **療養生活看護学（慢性）**

化学で地域産業を活性化

パンやチョコブラウニーの開発で地域を元気に

理工学部
丸田晋策教授

食品の開発には、実は化学が大いに関係しています。たとえば東京の八王子市では、化学を学ぶ学生が、八王子の米から作った米粉を使って、小麦アレルギーの子どもたちのためにグルテンフリーのパンを完成させました。また企業との協働でチョコブラウニーなどのスイーツも開発。大手企業に比べて地場産業は認知度や価格面で不利になりがちですが、知識とアイデア、研究により“ここにしかないモノ”を作り上げることで、地域独自の魅力を発信できます。

→ たとえば、創価大の理工学部ではこんな学びにつながります！ **化学と地域活性化／医療用ナノマシンの開発**

制度だけで民主主義は完成しない

多様性は対立を生むこともあり多数派が正しい保証はない

国際教養学部
山田竜作教授

人々を画一化させるより多様性を認める方が民主的と言えます。しかし多様性は、互いの差異のため対立も生みがちです。意見、文化、ジェンダー、宗教など、社会には多くの差異があります。しかもそこに多数派と少数派がいれば、多数決の制度では少数派の声は置き去りにされやすいです。多数派の主張が正しいという保証はないので、多様な人々が対等に共存するには、それぞれの主張の「理由」を突き合わせる「対話」が民主主義には不可欠です。

→ たとえば、創価大の国際教養学部ではこんな学びにつながります！ **政治理論／ラディカル・デモクラシー**

実は、こんな学びとつながっている！

注目ワード6

Z世代も注目する6つのワードを
セレクト。よくわかっているモノでも
説明するのが難しいモノもある。
これらのワードを、「学び」という
視点からひも解いていきましょう。

#1 SDGs

SDGsとは「誰ひとり取り残さない」「持続可能な開発目標」であり、よりよい世界を目指す国際的な目標です。貧困やジェンダー、エネルギー、気候変動、平和など17のゴール・169のターゲットから構成されています。たとえばエネルギー危機の回避に貢献するため水や電気を節約するなど、私たち一人ひとりが日々行うべきことがたくさんあるのはもちろん、より大きな視点として国家や企業レベルでの目標設定、国際的なルールの策定など国家間の協力が欠かせません。

法学部
中山雅司教授

→ たとえば、創価大の法学部ではこんな学びにつながります！

平和を実現するための国際法

#2 キャッシュレス決済

二次元コードを使うなど「キャッシュレス決済」が普及し、現金を使わなくても支払いができるようになりました。そのためスーパーやコンビニでもセルフレジが多くなり、店舗にとっては少ない人員でより効率的にレジ業務ができるようになり、お客さんにとっては待ち時間が少なくなるというメリットがあります。このように新しいテクノロジーに着目し、活用していくことが、ビジネスをしていく上でますます重要になりつつあります。

経営学部
望月雅光教授

→ たとえば、創価大の経営学部ではこんな学びにつながります！

eビジネス論／AIとビジネス

#3 動画学習

コロナ禍により家での学習機会が増え、動画学習を経験した人も多いことでしょう。動画学習は好きなときにでき、自分のペースで一時停止・再生をして進められるというメリットがあります。一方、自由に行えるぶん、ついついゲームの誘惑に駆られて後回しし、気が付くと未視聴の動画が山積してしまうことも。今視聴するのが大変なのに後でなら楽に視聴できると勘違いをする、これを「現在バイアス」といい、後回しの原因のひとつと考えられています。

経済学部
小島健准教授

→ たとえば、創価大の経済学部ではこんな学びにつながります！

行動経済学／マクロ経済学

#4 推し

もともとはアイドルなど自分が好きな人物を指していましたが、次第に対象が広がり、現在では小説や漫画、アニメから鉄道、食品に至るまで幅広いジャンルに使われるようになっています。推しから派生した「推し活」（推しを応援する活動）も広く知られる言葉となり、推し活は多様な消費活動を伴い大きな経済効果も生み出しています。このように、一部の人々の文化が一般化していくなど、社会と文化の関係は時代によって大きく変わっていきます。

文学部
森下達准教授

→ たとえば、創価大の文学部ではこんな学びにつながります！

ポピュラー・カルチャー研究

#5 AR

バーチャルの世界に入り込めるVR（仮想現実）に対し、AR（拡張現実）はバーチャルの情報を現実世界に重ねて表示する技術のこと。専用アプリを入れたスマホのカメラを向けると現実の風景の中にバーチャルな建物が映し出されたり、原寸大の3D家具をバーチャルで自分の部屋に設置できたり。今後は、別の場所にいる人が同じ部屋にいるように感じる通信システムの開発などが進み、より日常に欠かせない技術となっていくでしょう。

理工学部
今村弘樹教授

→ たとえば、創価大の理工学部ではこんな学びにつながります！

AIの画像認識／ARによる3次元ビデオ通信システムの開発

#6 ビジネスアナリティクス

ビジネスアナリティクスとは、企業が重要な決断をする際に使う、定量法（計量的手法）を用いたデータ分析手法です。IBMやネットフリックスなどの大企業はマーケティングの改良、新商品やサービスの開発などに。コンサルティング企業のような中規模企業では適切な従業員の選定などに。そしてパン屋のような小規模企業では、新しいデザートの開発にSNSから得たデータを活用するというように、あらゆる規模の企業の意思決定に重要な方法です。

国際教養学部
ウール アイトゥン オズターク教授

→ たとえば、創価大の国際教養学部ではこんな学びにつながります！

経営科学／生産工学／オペレーションズ・リサーチ